

高校生有志団体Let's try project

団体概要と活動紹介



LET'S TRY PROJECT

高校生から始まる地域おこしプロジェクト



- 团体概要 -

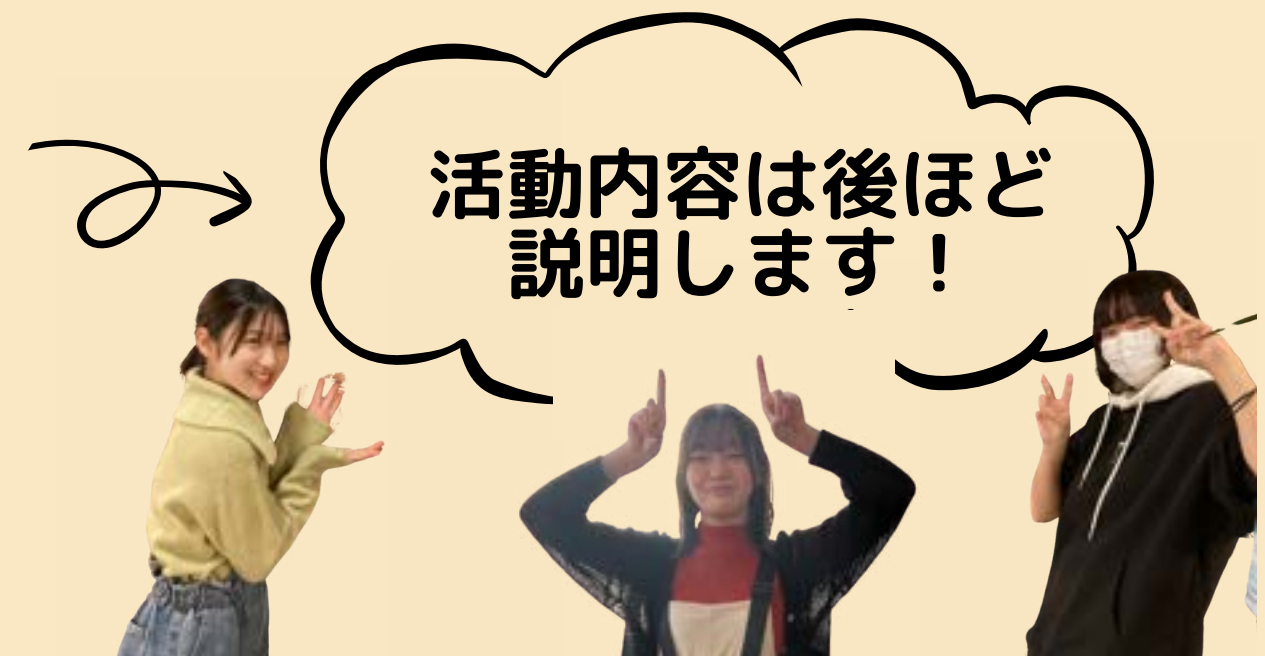
高校生有志団体Let's try projectとは？

構成メンバー：今年度は市内外の4つの高校から
総勢40人の高校生がプロジェクトに所属

活動日：放課後や土日、長期休みが活動のメイン
(毎週月曜の放課後は全体ミーティングを実施)

活動の柱：①地域の居場所づくりと運営
②地域との交流事業

活動内容は後ほど
説明します！



高校生有志団体Let's try projectの理念

学校ではなかなか学ぶ機会の少ない
「社会交流」「多世代交流」「地域交流」を通じて
若年層が地域と率先して関わることにより
地元の地域活性化を目指す。



高校生にとってLet's try projectは

／ 高校生のやってみたい！大人と関わってみたい！
／ 何かに挑戦してみたい！色々な経験をしてみたい！

が実現できる団体

※この活動の結果が「町の活性化/地域貢献/地域課題解決」ということに繋がっているだけで高校生にとって地域活性化や地域貢献などが、一番の活動動機なのではないことをご承知ください。



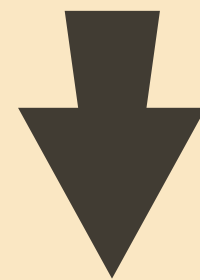
高校生にとってLet's try projectは

自分たちで意思決定できる団体



その結果...Let's try projectは

高校生のやってみたい！大人と関わってみたい！
何かに挑戦してみたい！色々な経験をしてみたい！
自分たちで意思決定できる！



「高校生が主体となって地域と関わる」

という活動動機に繋がっている

- 団体設立と施設オープン経緯 -

2021年12月17日

このプロジェクトは
ある高校の
生徒の声から始まった・・・

「高校生の居場所がない」
「もっと地域と関わりたい」

そんな声に集まった高校生が
についに動き出す

LET'S TRY PROJECTの
始まり

このプロジェクトは、ある高校の
生徒の声から始まった...

「須坂に高校生が集まれる場所が無すぎる!!」

「高校生も もっと地域と関わりたい!!」

そこで、活動に興味がある高校生が集まって

LET'S TRY PROJECTが動き出す...

2021.12.17.金

高校生有志団体Let's try project



LET'S TRY
PROJECT

高校生から始まる地域おこしプロジェクト

設立：2021年12月

団体立ち上げ時の大きな目標は2つ

- ・ 町に高校生の居場所を作ること

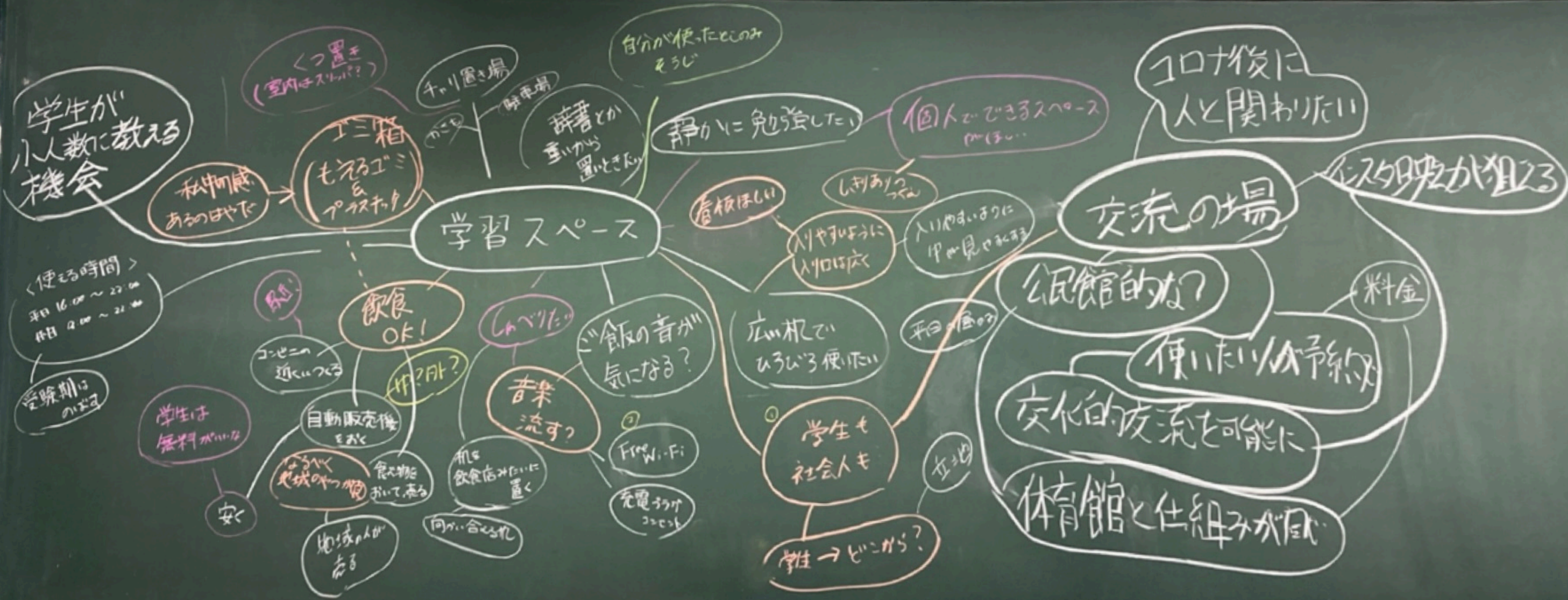
(方法) 空き家を探して自力で改修

- ・ 町と交流できる機会を作ること

(方法①) 地域との交流拠点を作る

(方法②) 自分達で企画を考えて接点を作り出す

高校1年生3人、高校2年生12人 地域おこし協力隊の計16人で活動を開始



高校生の居場所coto²作りプロジェクト

2022年3月～



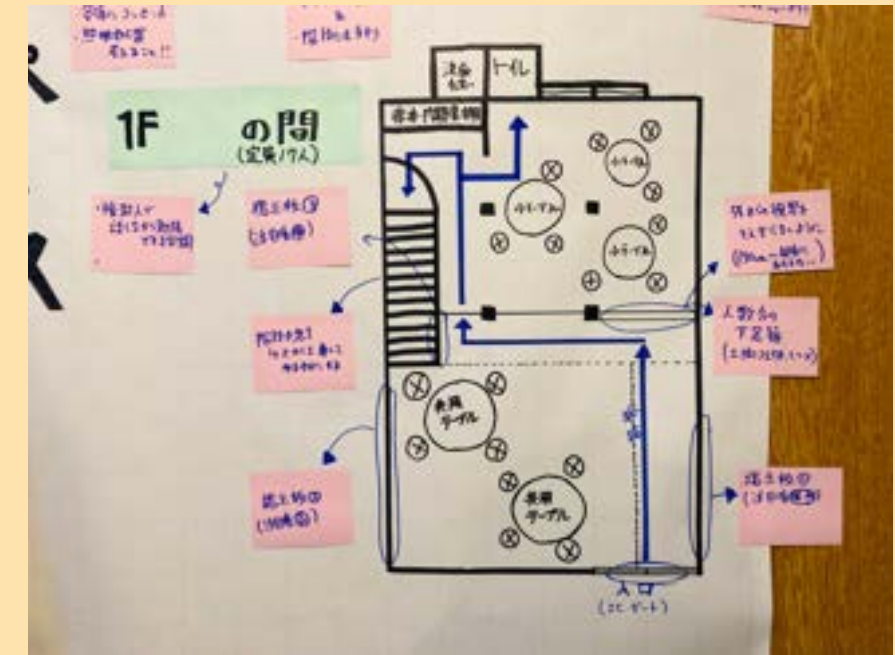
2022年4月～



2022年5月～



2022年6月～



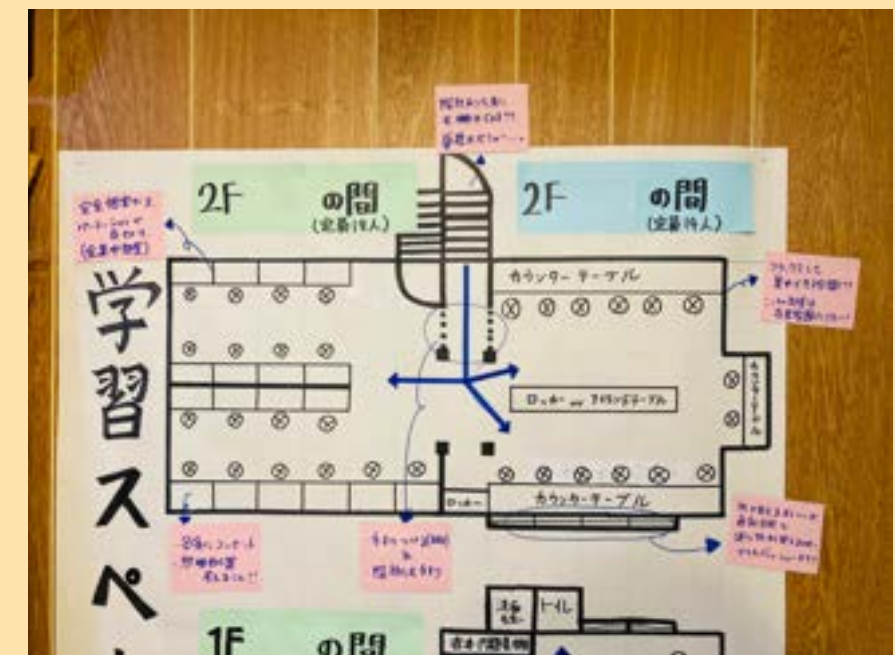
近隣地域へ挨拶、企業訪問



古民家を解体開始



改修作戦会議



施設間取り設計

高校生の居場所coto²作りプロジェクト

2022年8月～



2022年9月～



解体完全終了

改修の開始

地域の方との漆 ワークショップ

丸鋸で切断作業も軽々

高校生の居場所coto²作りプロジェクト

2022年12月～



内装の仕上げ作業

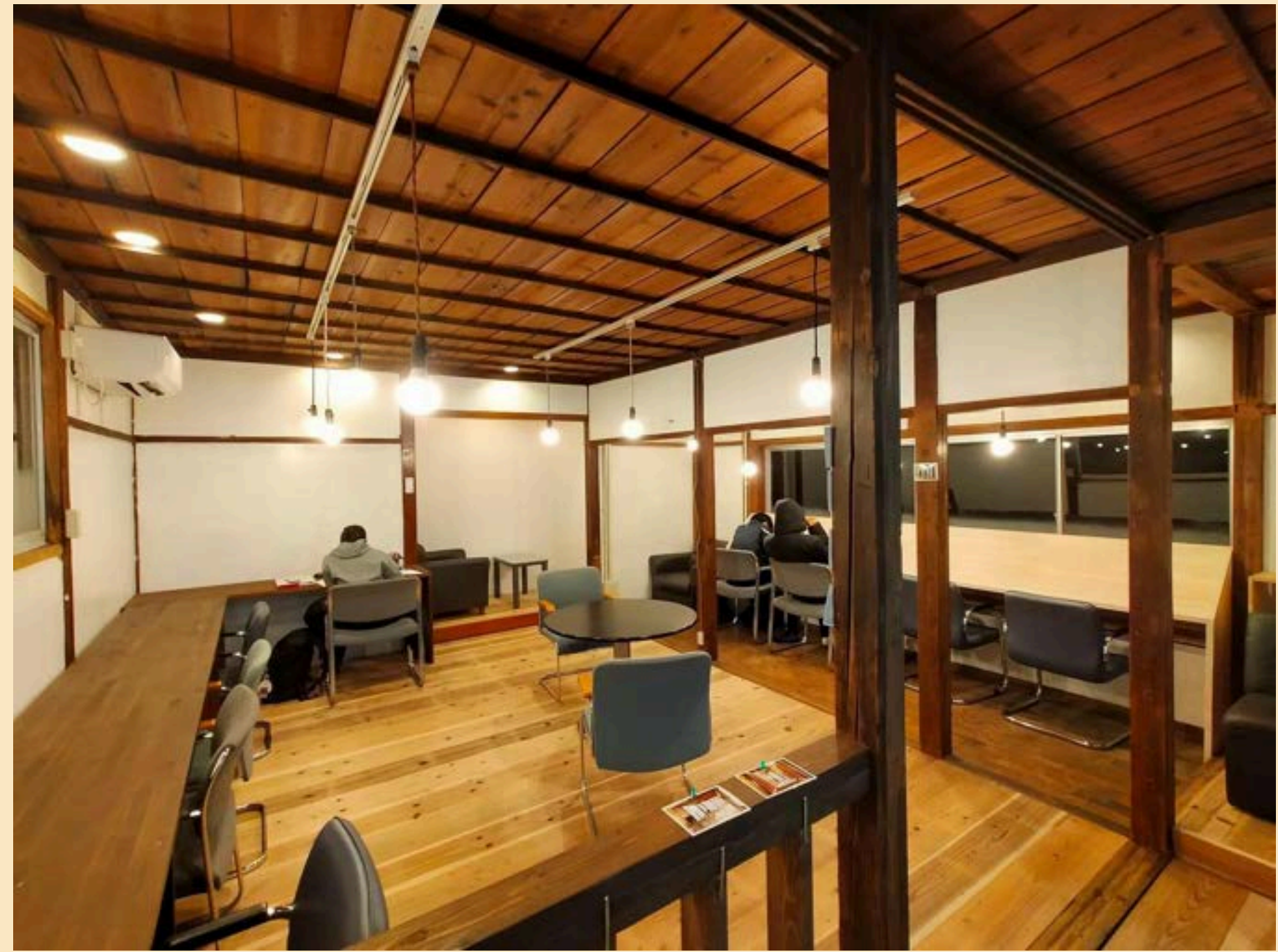
塗装作業

寄贈された家具を搬入

清掃と養生取り...

2023年2月

高校生の居場所coto²の完成！



2023年4月

施設の運用も開始し

町の中に「高校生の居場所」は完成した。

次は「高校生と大人が関われる環境」づくり。

同時にそれが「町の大人の居場所」になるような....

2023年6月

「地域交流拠点Aile」改修開始！

地域交流拠点Aile作りプロジェクト

2023年6月～



現状確認と改装プラン会議

解体開始

地域交流拠点Aile作りプロジェクト

2023年8月～



残土搬出作業

土間コンクリ打ち

2023年9月～



地域の大家さんと

基礎づくり

地域交流拠点Aile作りプロジェクト

2023年11月～



2023年12月～



2024年1月～



2024年2月～



床張り作業



キッチン造作



内装改修工事



仕上げ塗装

2024年3月

地域交流拠点Aileの完成！



- coto²とAileの施設概要 -

高校生の居場所coto²

使える日	365日 / 6:00~22:00
使える人	会員登録した高校生（登録無料）
利用料金	完全無料
運営方法	無人運営、高校生による自主管理
施設設備	オートロックセキュリティー FreeWi-Fi、冷暖房設備、売店、コピー機

施設のルールは高校生が決める

Coto²ルール 1階

- 電気は来た人が自由につけてOK
最後に出る人は消す
- 話してもOKでも、騒ぎすぎないように
- ゴミは持ち帰ろう
消しカス入れには消しカスだけ
- 場所取りNG (30分以上)
30分以上離れる場合は
荷物置き場へ
- 平日 15:00 までは2階を優先的に
使ってね
(フリースクールの人たちが1階を使っています。)



誰が作ったの?

Let's try project が作った

市内の有志
高校生で構成される

高校生の居場所です。

運営はその代の高校生が行っています。

運営状況

お金がなくなったら
施設の維持できなくな
ります。

企業さんの協賛金で運営しています。
他にも、まちの方の寄付や大人の方の善意で成り立っています

1人1人が利用者兼管理者として

大切に使うください

Coto²ルール

- 静かに勉強しよう
- 基本飲食NG
→ ふたつき飲み物 OK
一口サイズのお菓子 OK
- ゴミは持ち帰ろう
→ 消しカス入れには消しカスだけ
- 場所取りNG (30分以上)
→ 30分以上離れる場合は
荷物置き場へ!

施設運営も高校生が行う

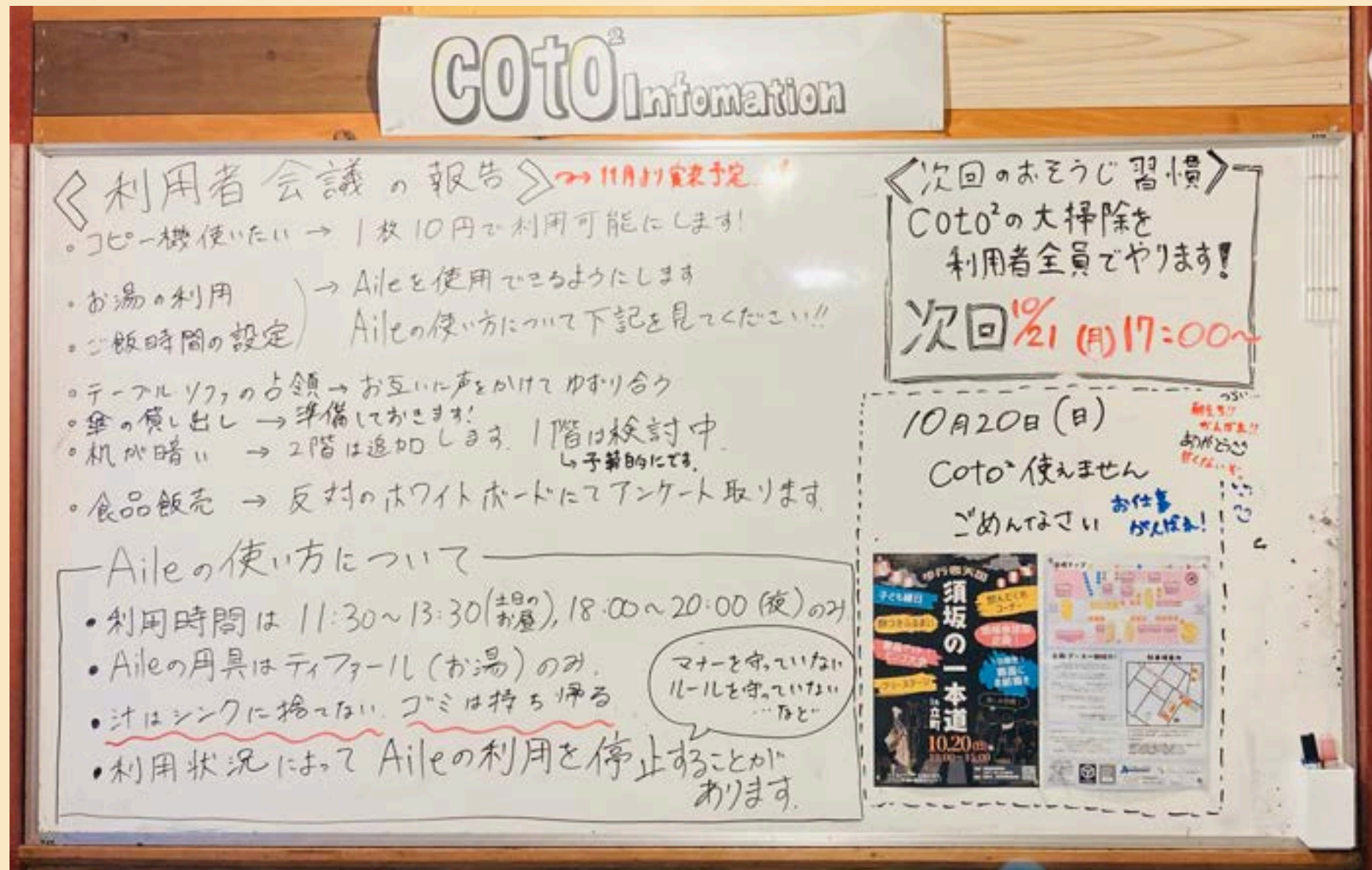


2週間に1度利用者全員で施設の掃除
運営が管理するのではなく
使う人が全員で施設を管理していく



管理人がいないためゴミ箱を設置せず
ゴミは全て持ち帰るルール
消しかすのみ捨てれるBOXを設置

施設運営も高校生が行う



3ヶ月に1回、利用者会議を開催。
施設改善や利用者の要望を集める。



10月の会議で要望のあった
食料売店が11月より実装

IOT機器による無人化と安全性の両立



入口にオートロック導入
会員登録した高校生のみ
解除できるカードキーを配布



防犯カメラによる緊急時の記録
(24時間1ヶ月分を保存)
双方通話も可能



室内温度と時間で
空調を自動コントロール

coto²の利用状況



月に延べ1000人以上の利用、現在会員登録数550人

地域交流拠点Aile

使える日	平日 / 9:00~18:00
使える人	誰でも利用可能
利用料金	基本無料 / 貸切は有料
運営方法	有人運営
施設設備	FreeWi-Fi、プロジェクター 会議用ホワイトボード、冷暖房設備
備考	飲食営業許可取得物件 チャレンジキッチンやイベント利用可能

Aileの利用状況



打ち合わせ、チャレンジキッチン、イベント会場として
2024年4月～少しずつ使われ出している

- Let's try projectの具体的な活動内容 -

Let's try projectの活動の柱

①地域の居場所づくりと運営

→今までのスライド参照

②地域との交流事業

→自分達で考えたさまざまな企画実施
地域既存のイベントや企画への参加

②地域との交流事業

- ・ 地域高齢者へ向けたスマホ教室
- ・ 小学生へ勉強講座
- ・ 中学生と高校生の交流企画
- ・ 高校生と大学生との交流企画
- ・ 高校生主催地域イベントの開催
- ・ 地域通信の作成発行
- ・ 地域イベントへの参加
- ・ 高校生商品の開発と販売
- ・ 高校生カフェの営業
- ・ 活動の講演会（行政・企業・大学等で）



Let's try projectの この先

地域の居場所づくり → 2022年度 高校生の居場所coto²完成
2023年度 地域交流拠点Aile完成

地域の居場所の運営 → coto²は2023年度より自走開始
Aileは地域拠点としての有効活用に向けて現在試行錯誤中

地域との交流事業 → 自分達で考えたさまざまな企画実施
地域既存のイベントや企画への参加

この部分を活動の中心において動く予定

Let's try projectのメンバー推移

2021年12月	15人	(第1期生15人で設立)
2022年度	25人	(第2期生10人加入)
2023年度	36人	(第3期生23人加入 / 12人卒業)
2024年度	40人	(第4期生10人加入 / 6人卒業)



プロジェクト卒業生18人のうち5人が地域・町づくり系の学部に進学

< 2023年度卒業生 >

國 院観光まちづくり学部、
長野県立大学グローバルマネジメント学部
兵庫芸術文化観光専門職大学、など....

< 2023年度卒業生 >

奈良県立大学地域創造学部

< 2024年度卒業生 >

2024度も2人が
まちづくり系学部を受験予定!

